



DÎNER DE GALA  
FRANCO - JAPONAIS  
日仏 ガラ・ディナー



**Vendredi 13 juin**

**6月13日(金)**

**18H00-22H00**

à l'Hôtel Potocki | 旧ポトフスキー伯爵邸  
27 Av. de Friedland 75008 Paris



日仏経済界の年に一度の祝典



# 年に一度の豪華絢爛な祝典

1997年以来、日仏経済交流委員会（CEFJ）は、パリ・イルドフランス商工会議所の中でも最も重要な二国間ビジネスコミュニティの一つです。約30もの分野で活躍し、フランス・欧州・日本に拠点を置く150以上の企業間のネットワークを支援しております。

毎年恒例のCEFJのガラ・ディナーは、日仏の友好と交流を祝う権威ある注目イベントです。長年に渡り、両国の文化・経済・外交関係をより強固なものにするための機会でありつづけています。

## 今年はシックなテーマと格別な場所で 歴史と様式美が息づく旧ポトフスキー伯爵邸



旧ポトフスキー伯爵邸は1870年～1887年の間、ポーランド貴族 ミコワイ・シュチェスネー・ポトフスキー伯爵の妻で、イタリア・ポーランド貴族のエマニュエラ・ポトフスカ伯爵夫人の邸宅でした。ポトフスカ伯爵夫人はパリにてベル・エポックの象徴的な存在でした。彼女が主宰するサロンには、マルセル・ブルースト、ギ・ド・モーパッサン、ロベール・ド・モンテスキュー（パリ・カルナヴァレ美術館にて肖像画をご覧ください）などの作家、芸術家、音楽家が足繫く通い、人気の社交の場として知られていました。

ポトフスカ伯爵夫人はその優雅さと魅力だけでなく、「マカベの晚餐」と呼ばれる晩餐会を主宰していることでも著名でした。この夜会には、黒い服装に身を包んだパリの文化人や知識人が参加し、怪しげな遊びに興じていたとも伝えられています。このようにして、ポトフスカ伯爵夫人は当時の新しいアイディアや芸術の普及に貢献しました。その影響もあり、伯爵邸は洗練さの象徴となったのです。

# 『華麗なるギャッツビー』 アール・デコ100周年を記念して



今年のガラ・ディナーは、1923年（公式な落成は1927年）以来、パリ・イルドフランス商工会議所の歴史的本部である旧ポトフスキー伯爵邸で開催される最後の祝典となるでしょう。これを機会に、アール・デコ誕生100周年を祝うとともに、一部がこの様式で彩られている伯爵邸の歴史を讃え、『日仏華麗なるギャッツビー』というテーマをもとに、皆様と特別なひとときをご一緒したいと思います。

## 経済交流と技術移転

歴史を簡単に振り返ってみましょう。1910年から1930年の間、フランスはジャック・ポール・フォール大佐が主導した『フランス航空教育団』を通じて、特に航空、造船、建築（鉄筋コンクリート、近代的技術）の分野における最先端技術や、制度モデルを日本に提供しました。この貿易によって日本は外貨を蓄え、近代化や外国技術の購入に充てることができました。

文化面では、1924年に東京に設立された日仏会館によって交流が制度化され、知的・科学的協力の主要な拠点となりました。このような技術、経済、文化の交流は、両国間の永続的な対話の基礎を築くに至りました。



杉林古香作『鶏合蒔絵硯箱』  
明治39（1906）年、佐倉市立美術館蔵

## アール・デコとジャポニズム

大正末期から第二次世界大戦前夜まで、アール・デコは日本の装飾美術に大きな影響を及ぼしました。1900年のパリ万国博覧会でアール・ヌーヴォーに感銘を受けた日本の芸術家たちは、1925年のパリ現代産業装飾芸術国際博覧会でアール・デコを知ることになりました。

## アール・デコ

アール・デコは1910年代初頭にフランスで生まれた装飾美術。その後1925年にパリで開催された「現代産業装飾芸術国際博覧会」を機に1920年代に流行しました。

ピエール・フルニエ・デ・コラ（1887-1953）作  
四季：秋



# 『華麗なるギャッツビー』 アール・デコ100周年を記念して



この機会に日本の芸術家たちが大挙して渡仏し、アール・デコ様式は日本で大流行となり、建築だけでなく調度品やオブジェにも影響を与えました。この1900年のパリ万国博覧会は、明治時代中期（1868～1912年）に人気低迷していた日本の装飾美術にとって再生の機会となりました。また、第二次世界大戦前夜に現れた前衛的な運動、たとえば「赤土」や「無形」のように、芸術家の個性を強調し、単なる職人としての役割に異議を唱える流れの土壌ともなりました。

同じ頃フランスでは、日本の美学への憧れが装飾芸術を変貌させ、最初はアール・ヌーヴォー、次いでアール・デコで、日本に触発された形や装飾の幾何学化が進みました。これは「ジャポニズム」として知られるようになり、絵画（モネ、ゴッホ）、グラフィックアート、建築、家具、ファッション、さらには文学にまで影響を与えました。

また、新しいモチーフ（自然、鳥、花、非対称性）、技法（版画、漆）、そしてシンプルさと純粹さへの感性があらゆる装飾に取り入れられました。日本の美はアール・ヌーヴォーの出現に決定的な影響を与え、よりモダンで構造的な美学に日本の感性を適応させたアール・デコの創造者たちにインスピレーションを与え続けました。

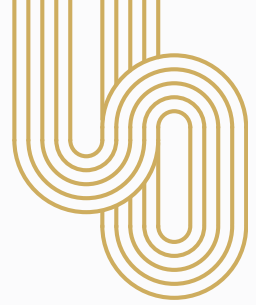
2025年に誕生100周年を迎えたアール・デコは、とりわけオー＝ド＝フランス地域圏にて、装飾美術の変遷に関する展覧会や講演会を通じて祝われます。また、歴史的で現代的な家具の修復・保全を担うモビリエ・ナショナル（フランス国有動産管理局）が、フランスの装飾美術の推進において重要な役割を果たします。さらに、パリ装飾美術館において、**2025年10月21日～2026年2月22日の間、特別展覧会『1925年～2025年 アール・デコ100周年』**が開催される予定です。今年のガラ・ディナーは、世界的な広がりとなった数少ない装飾美術の様式に光を当てる機会となるでしょう。

## ジャポニズム

ジャポニズムとは、19世紀後半から戦間期にかけて、日本の文明や芸術がフランス、そしてヨーロッパの芸術家や作家に与えた大きな芸術的な影響のこと。

ヴァン・ゴッホ作、アムステルダム国立美術館蔵。  
ケサイ・アイゼンに倣い1887年に制作。





# 大阪・関西万博2025

## 「いのち輝く未来社会のデザイン」

ガラ・ディナーとともに、4月13日に開幕した大阪・関西万博も要注目です。6ヵ月間に渡り開催される当万博には、161ヵ国が参加します。とりわけフランスパビリオンは、LVMHやアクサ、ニナファーム、アルザスワインなどの名だたるスポンサー企業からの支援を受け、「愛への讃歌」というテーマを通じてフランスのイメージを輝かせます。また、ビジネスフランス、在日フランス商工会議所、対外貿易顧問、無形文化遺産企業、フランス無形文化遺産企業連盟、フランス技術・知識機関、パリ・ノートルダム大聖堂、オービュッソン国際タピスリーセンター、グラン・パレ、国立セーヴル磁器製作所ーモビリエ・ナショナルなどの数々のパートナー機関とともに、CEFJもこのプロジェクトを支援しています。

今年の大阪・関西万博2025は、1970年の大阪万博を引き継ぎ、「いのちを救う」「いのちを強くする」「いのちを繋ぐ」という3つのサブテーマをもとに、さまざまな課題に取り組みます。

これらのテーマをよく理解してもらうため、CEFJの会員企業（日立、KDDI、ロレアル、三井住友、三菱、NTT、パナソニック、サントリー、島津製作所など）を含む企業が、イノベーションと専門知識を披露し、世界中から訪れる来場者を楽しませています。

この国際的で大規模なイベントに敬意を表し、その第一印象を共有するために、在フランス日本大使の下川眞樹太氏とコフレックス社代表のジャック・メール氏をお迎えします。



## 万国博覧会 - フラッシュバック

1970年3月15日～9月13日に開催された大阪万博1970は、日本およびアジアで開催された初の万博でした。77ヵ国が参加し、『人類の進歩と調和』をテーマとした当万博には、6400万人もの来場者が訪れました。この数字は、2010年上海万博まで破られることはありませんでした。



# プログラム

**18h00**

開場

中庭にてアペリティフ（天候による）

**19h00**

歓迎と乾杯の挨拶

スピーチ：日仏友好関係における「大阪・関西万博2025」

タイムマシーン・オーケストラによるスウィング・ジャズの演奏

**20h00**

着席ディナー

**20h45**

デザート（和菓子）

抽選会とサイレントオークション

Floo Folkによるポップラウンジミュージックの演奏

中庭にてお茶（天候による）

**22h30**

閉会

旧ポトフスキー伯爵邸公式ガイド リュドミラ・ゴリシェバによるガイドツアー（18時～19時／21時～22時）

What Next?



# ルックブック

ドレスコード：トータルコーディネート、またはアール・デコにインスピレーション  
を得た大胆な装いをおすすめします！

『ギャツビースプリットアウトフィット』賞の受賞者に特別なサプライズをご用意  
しております。





# ご予約 チケット&テーブル購入

アール・デコ様式の優雅や洗練さとギャツビーの魅力が交わる、  
忘れられない夜会へぜひご参加ください。

豪華絢爛な雰囲気の中で  
日本とフランスの文化・経済・外交的な絆をともに祝いましょう。

## 参加費用\*

### CEFJ会員様

- ・ お一人様 : 215 € / 人
- ・ ペア : 375 € = 187,50€ / 人 (10%のお値引き)

### 非会員様

- ・ お一人様 : 280 € / 人
- ・ ペア : 490 € = 245 € / 人 (10%のお値引き)

### 10名様テーブル : 1950 € (CEFJ会員様の場合)

クライアント、パートナー、同僚の方の招待用としてご利用ください

\*税込み価格





# スポンサー 景品抽選会/コンクール



日本とフランスの友好・協力関係を祝う記念すべきガラ・ディナーに皆様をお招きできることを大変光栄に思います。この夜会を素晴らしいものにするため、スポンサーシップまたは現物寄付という形で皆様のご支援をお願いしております。

## ご支援方法

- **ファイナンススポンサー**：ガラ・ディナーの公式のスポンサーになっていただくことで、イベントの間貴社の商品やサービスのアピール・知名度向上に繋がります（2000€～）。
- **現物寄付**：レセプションにて、シャンパン、日本酒、スイーツ、試食エリア、カクテルバーなど。
- **エンターテインメント**：アーティストのパフォーマンスを通じてガラ・ディナーを盛り上げていただく。
- **景品抽選会**：抽選会用に豪華賞品5点を募集しております。素敵な商品やサービスのご提供をお待ちしております。
- **『ギャツビー スプリットアウトフィット』賞**：ギャツビーのスプリットを反映したこの賞の受賞者への魅力的な賞品をお待ちしております。



**皆様の寛大なご支援がガラ・ディナー成功の鍵です**  
多大なるご支援と日仏間の関係強化への取り組みに感謝いたします。

ご質問や参加の確認をご希望の場合はCEFJまでお問合せください。



CCI PARIS ILE-DE-FRANCE

LVMH



VA VINS  
ALSACE



Hakkaïsan



賛助企業様





# お問合せ先



富永 典子

総代表

電話 : +33 - (0)1 55 65 35 24

メール : ntominaga@cefj.org

オレリア・デジュリアール

イベント&コミュニケーション担当

電話 : +33 - (0)1 55 65 36 53

メール : adejulliard@cefj.org



[www.cefj.org](http://www.cefj.org)

